

南アフリカ為替週報

2023年6月29日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(6月22日～6月28日)

USD/ZAR: 18.3112～18.7754

ZAR/JPY: 7.63～7.80 (参照値)

先週1週間の南ア・ランドの相場は対ドル、対ユーロで続落。ランドは6月1日につけた対ドル19.92の史上最安値から6月16日には18.12へとわずか2週間足らずで最大で10%近く反発したが、急反発が一服した後は再び下落圧力が強まりつつある。6月28日の終値時点では対ドル18.65と市場最安値からの上昇率は約7%まで縮小している。ランドの下落圧力が強まりつつあるのは、6月初頭の上昇局面と同様に、主に外部要因が影響しているだろう。6月初めから中旬にかけて米FRBの利上げ停止を織り込みに行く過程では、米金利の低下と為替市場のボラティリティー低下が、ランドを含む高金利通貨を押し上げた。しかし、6月FOMCでは年内に追加で2回の利上げ見通しが示されたほか、その後発表された消費者信頼感指数や新築住宅販売件数をはじめ米経済指標は強い結果であり、米短期金利市場では少なくとも7月に追加で1回の利上げは行われるという見方が広まりつつある。米金利・ドルの反発に伴い、新興国通貨のみならず、日本円に対しても下落圧力は強まっており、対円で見たランドは過去1週間、底堅い展開となっている。

上述の通り、ランドは外部環境次第という側面が強いが、国内の要因で重要なのは、南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策の動向である。6月28日時点でターミナルレート(政策金利の到達地点)の織り込みは8.44%と、現在8.25%の政策金利から残り25bpの追加利上げが70%の確率で織り込まれている状況である。5月末時点では9.00%まで政策金利が引き上げられる織り込みとなっていた。さらに、2024年1～3月期にはSARBが利下げに転換するという見方も台頭しつつある。こうした市場の見方の背景には、ランドの急反発や、6月21日に発表された5月CPIの低下がある。5月CPIは前年同月比+6.3%と4月分の同+6.8%から減速し、市場予想の同+6.5%も下回った。食料・エネルギー価格の前年比較時点の高さから、前年比で見たCPIが計算上低下する「ベース効果」が効いている面も大きい。食料・エネルギーを除いたコアCPIも前年同月比+5.2%と4月分の同+5.3%から低下している。南アの短期金利は低下しており、ランドが6月下旬以降に軟調となった一因にも挙げられる。もともと、SARBのクガニャゴ総裁は6月28日のブルームバーグのインタビューで、「インフレ率がターゲットまで低下し、それが持続するという見通しが立たなければ利下げには転換しない」、「政策金利はより高く、その状態がより長く続く(Higher for longer)」と発言しており、市場の早期利下げ観測をけん制している。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/27	10:30	非農業部門雇用者数(前期比)	Q1	0.2%	-0.2%	0.7%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(6月29日～7月5日)

USD/ZAR: 18.20～19.30

ZAR/JPY: 7.10～7.80

来週1週間のランドは反落する展開が続こう。引き続き、ランド相場の動向は米国の金融政策をはじめ外部環境の影響が大きいと見られるが、ポルトガルのシントラで開かれた会議では6月28日に米欧英の中銀トップが一段の金融引き締めを予想していると語り、利上げ局面がまだ終わっていないことを改めて印象づけた。一方の南アフリカ準備銀行(SARB)は金利の引き上げを6月以前に想定されていたほどには行わない公算が強まっている。また、ランドが4月末以降、急速に下落ペースを速めた要因と見られる電力不足の問題や、ロシアへの武器供与疑惑をめぐる地政学的な緊張、といった問題は未解消のまま残されている。外部環境が逆風に転じた際のランドの調整リスクは引き続き大きい点には注意が必要となろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

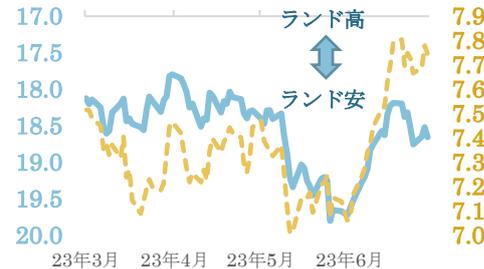
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/29	10:30	PPI(前年比)	5月	7.5%		8.6%
6/30	13:00	貿易収支(ZAR)	5月	6.0b		3.5b
7/3	10:00	製造業PMI	5月			49.2

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線:対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線:対円レート(右軸)



南アフリカ 消費者物価指数(CPI)

実線:ヘッドライン

点線:コアCPI

(前年比%)

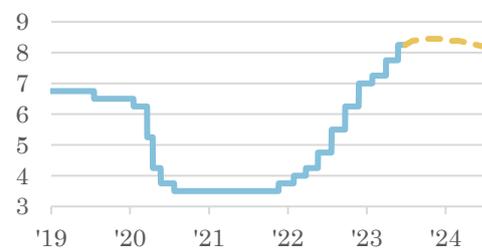


南アフリカ 政策金利

実線:実線

点線:市場の織り込み(*)

(%)



* 市場の織り込みは3か月JIBORのフォワード契約から計算。2023年6月28日時点。

(資料:ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

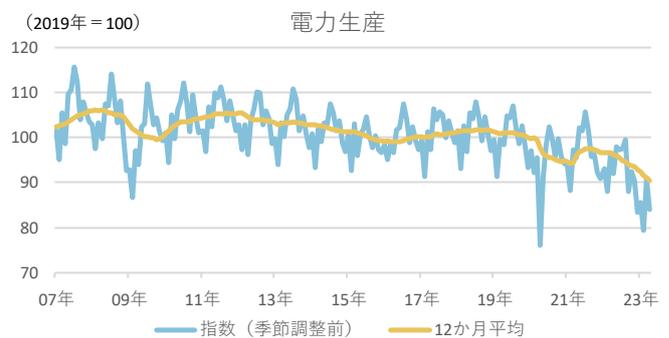
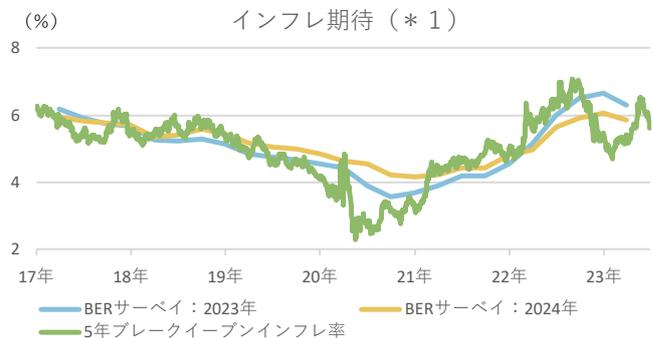
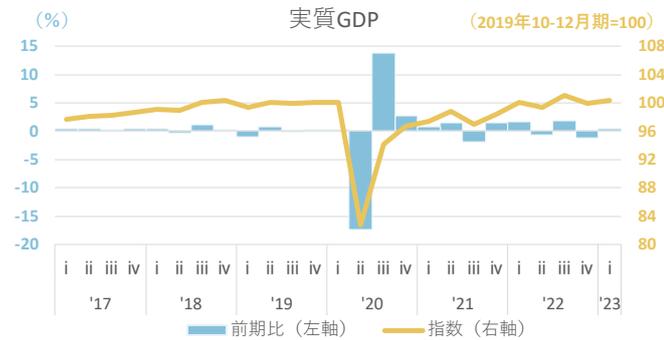
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年6月29日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞



- * 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。
経済アナリストや企業などが調査対象となっている。
ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- * 2 : 月次データ。ただし、2023年6月は1日から27日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。